

(おー28) 畜産ビッグデータ活用プラットフォーム

目的

国産畜産物を高品質化するために必要な飼料管理・疫病管理・繁殖管理・肥育管理・肉質管理・流通管理・マーケティングなどについて包括的統合的データベースの構築を目指し研究開発を行う。

普及目標

2018年設立

- 2022年までに、畜産ビッグデータを用いた、消費者嗜好に対応した肉質向上技術を開発する。
- 2025年までに、育種、繁殖、疾病管理、肥育を包括的に評価する技術を開発する。
- 2030年までに、開発技術の事業化を行い全国的な普及を行う。

事業化内容



漢方・生薬
酒粕
しょうゆ粕

みかんジュース粕



パスタ



くまのポーク
販売開始

2018年

和歌山ポーク
肉質研究会設立

2018年 設立

2015~17 農食事業

「株式会社ビーフソムリエ」ローンチ



紀州和華牛
販売開始

2019~21 JRA事業(牛)

2020 SCORE(牛)

2021~23 JRA事業(繁殖)

2022 JRA事業(牛)

2022~24 和歌山県先駆的事業(牛)

2023~25 JRA事業(豚)

2022~24 JRA事業(牛)

2023~25 JRA事業(豚)

2022~24 JRA事業(牛)

2023~25 JRA事業(豚)

2022~24 JRA事業(牛)

2023~25 JRA事業(豚)

卸・流通・小売への
普及活動

普及事業



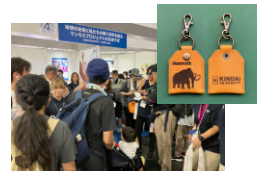
動物感謝デーinわかやま



コラボ商品開発



オープンキャンパス



EXPO2025



NHK出演



日本畜産学会大会



KBMSS研究会

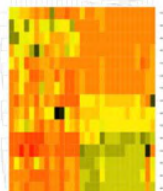
雑誌寄稿

開発技術

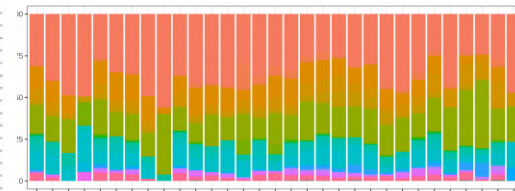
畜産ビッグデータ

生体血清プロテオーム
(ビーフソムリエ)

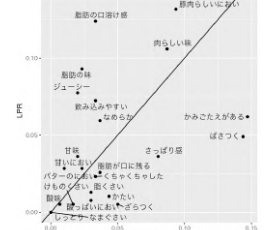
生体血清メタボローム



鼻汁メタゲノム



消費者嗜好調査



【参画機関】

近畿大学生物理工学部、家畜改良センター、農研機構、和歌山県畜産試験場、有限会社中勢以、佐賀県畜産試験場、埼玉県農業技術研究センター、愛知県農業総合試験場、日本大学生物資源科学部、ユニアデックス(株)、(株)シムコ、(株)相馬光学、株式会社AnimoScience、茨城県畜産センター養豚研究所、大分県農林水産研究指導センター、広島大学生物生産学部、自然科学研究機構基礎生物学研究所、京都大学大学院農学研究科、茨城大学農学部、九州大学大学院農学研究科

総括プロデューサー: 近畿大学生物理工学部 松本和也
コーディネーター: 家畜改良センター 入江正和

プラットフォーム事務局連絡先:
近畿大学生物理工学部 白木琢磨 TEL 0736-77-3888
(shiraki@waka.kindai.ac.jp)